

数学 I・A 第 2 問 [2]

- (1) ㊸ X と V , X と Y の散布図から, X と Y の相関の方が, X と V の相関より強いことが読み取れる。よって, 正しくない。
- ㊹ X と Y の散布図から, X と Y の間には正の相関があることが読み取れる。よって, 正しい。
- ㊺ X と V の散布図から, V が最大のジャンプは X が最大でないことが読み取れる。よって, 正しくない。
- ㊻ Y と V の散布図から, V が最大のジャンプは Y が最大でないことが読み取れる。よって, 正しくない。
- ㊼ X と Y の散布図から, Y が最小のジャンプは X が最小でないことが読み取れる。よって, 正しい。
- ㊽ X と V の散布図から, X が 80 以上のジャンプでも V が 93 未満のものがあることが読み取れる。よって, 正しくない。
- ㊾ Y と V の散布図から, Y が 55 以上のジャンプはすべて V が 94 未満であることが読み取れる。よって, 正しい。

以上から シ, ス, セ ㊹, ㊼, ㊾

- (2) 得点 X , 得点 Y , 飛距離 D のデータの各値をそれぞれ X_N, Y_N, D_N ($N=1, 2, \dots, 58$) と表し, それぞれの平均値を $\bar{X}, \bar{Y}, \bar{D}$ と表す。
 $X=1.80 \times (D-125.0)+60.0=1.8D-165$ であるから,

$$X_N=1.8D_N-165, \bar{X}=1.8\bar{D}-165 \dots\dots \textcircled{1}$$

の関係がある。

また, X, Y, D のデータの分散をそれぞれ s_X^2, s_Y^2, s_D^2 とすると

$$s_X^2=1.8^2s_D^2=3.24s_D^2$$

よって $\frac{s_X^2}{s_D^2}=3.24$ (ソ ㊹)

X と Y, D と Y のデータの共分散をそれぞれ s_{XY}, s_{DY} とすると, 共分散の定義から

$$s_{XY}=\frac{1}{58}\{(X_1-\bar{X})(Y_1-\bar{Y})+\dots+(X_{58}-\bar{X})(Y_{58}-\bar{Y})\}$$

$$s_{DY}=\frac{1}{58}\{(D_1-\bar{D})(Y_1-\bar{Y})+\dots+(D_{58}-\bar{D})(Y_{58}-\bar{Y})\}$$

ここで, ㊹ から

$$s_{XY}=\frac{1}{58}\{(1.8D_1-1.8\bar{D})(Y_1-\bar{Y})+\dots+(1.8D_{58}-1.8\bar{D})(Y_{58}-\bar{Y})\}$$

$$=\frac{1.8}{58}\{(D_1-\bar{D})(Y_1-\bar{Y})+\dots+(D_{58}-\bar{D})(Y_{58}-\bar{Y})\}$$

$$=1.8s_{DY}$$

ゆえに $\frac{s_{XY}}{s_{DY}}=1.80$ (タ ㊹)

さらに、 X と Y 、 D と Y のデータの相関係数をそれぞれ r_{XY} 、 r_{DY} とすると、相関係数

$$\text{の定義から } r_{XY} = \frac{s_{XY}}{s_X s_Y} = \frac{1.8s_{DY}}{1.8s_D \cdot s_Y} = \frac{s_{DY}}{s_D s_Y} = r_{DY}$$

$$\text{したがって } \frac{r_{XY}}{r_{DY}} = 1 \quad (\text{チ } \textcircled{2})$$

(3) 1回目の $X+Y$ の最小値が108.0であることから、箱ひげ図はaとわかる。

また、Bのヒストグラムには105.0以下の値が含まれているから、1回目の $X+Y$ の値に対するヒストグラムはAとわかる。

よって、正しい組合せは ツ $\textcircled{0}$

2回目の $X+Y$ の値に対する箱ひげ図はbである。

2つの箱ひげ図から、四分位範囲は2回目の方が大きく、最小値、中央値、最大値はすべて1回目の方が大きいことがわかる。

ゆえに、正しいものは テ $\textcircled{1}$